

学校目標・経営方針	
本年度の重点目標	1 農業専門高校として、「生命」「環境」「食」を育む教育を主体とし、「夢」と「志」を持ち、新しい価値の「創造」に向けて、たくましく、しなやかに未来を拓く人材を育成する。
	2 学習に対する意欲と主体性、学び・わかる喜びに根ざした確かな学力を育成する
	3 自らを律し、他者を思いやる心、望ましい人間関係が築ける豊かな心を育成する。
	4 生涯にわたり、健康に生きる力を育成する。
達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

山梨県立農林学校校長 古郡 文春	
評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価		年度末評価(2月1日現在)	
本年度の重点目標		自己評価結果	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	特色ある学校づくり	スペシャリストの育成を図るための資格取得を推進	アグリマイスター制度の取り組み推進・資格取得補助制度の活用
		キャリア教育の充実を推進するために体験的な学習を推進	インターンシップ・デュアルシステムの実施・進路係、学年、学科の連携強化
		向上心、自主・自立、連帯の精神を養うための農業クラブ活動の充実	農業クラブ活動の推進・プロジェクト学習の推進
		本校の歴史・伝統を理解するために「先人に学ぶ事業」を推進	俳句コンテスト・白磁の人読書感想文の取り組み推進 地域の移り変わりや学校の歴史探究への取組推進
2	学習指導	農業大学校や山梨学院大学との連携を推進	学校設定科目「地域と農業Ⅱ」「アグリビジネス」の充実・連携会議の推進
		思考力・判断力・表現力の育成を図るための主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の推進	相互授業参観及び授業アンケートの実施
		知識の定着を図るために、計画的な授業計画の推進	学び・やり甲斐・ACTIVEプロジェクトの取り組み推進 やまなしスタンダードの推進
		学習意欲の向上を図るための多様な評価方法の開発	「授業・学校づくり」「情報教育」の推進 校内研究・研修会の実施
3	進路指導	基礎学力の向上と家庭学習習慣の定着を図るための学習指導の開発	高校生のための学びの基礎診断の実施・分析の学習指導の開発
		早い段階で生徒・保護者の進路希望を把握し、組織的な指導体制を充実	進路希望調査・個別懇談の実施
		HR・学年・学科・進路指導係などの連携を密にし、組織的に進路指導の充実	インターンシップ・デュアルシステムの実施
		生徒の希望に応じた企業の踏査や進学先に対して積極的なサポートし進路実現を充実	進路ガイダンスの実施
4	生徒指導	生徒一人ひとりのマナー・コミュニケーション能力を高めるために外部講師等と連携を推進	総合的な学習(探究)の時間の推進
		組織的な生徒指導を確立するために全教職員が共通理解のもと指導	校内研修会(含む特別支援研修)の実施
		生徒理解を深め、安心して学ぶ環境づくりを推進	関係者会議の実施及び外部機関との連携
		生徒の悩み・相談に丁寧に応じ、教育相談体制を充実	アンケートの実施・HR活動の充実
5	道徳教育 安全教育	三者懇談・家庭訪問等を積極的に実施し、保護者との連携・協力体制を充実	個別懇談の実施
		「寝る指導」に心掛け、自己肯定感を育む教育の推進	生徒会活動の推進
		健康で規律ある学校生活が送れるような基本的な生活習慣の確立	マナーアップ運動の推進
		夢と感動のある学び舎を実現するために、特別活動を推進	体育・文化・委員会の活動の推進

学校関係者評価	
実施日(令和3年2月19日)	
評価	意見・要望等
4	・様々な教育活動の様子が、学校ホームページで紹介され、適切に更新されている。甲斐市との連携がメディアに多く取り上げられ、地域貢献への強い意欲と姿勢を感じた。
	・農業の楽しさ、食糧生産の重要性をしっかりと学ぶ学校であってほしい。その意味でもワイン醸造を教材とすることは大変素晴らしいことだと思う。栽培から加工までを体験的に学ぶところが魅力である。
	・食品科学科のワイン醸造は地域産業を支える人材育成に寄与するものであり、メディアで報道されるタイミングも非常に良かった。
	・専門性を生かした魅力ある授業により生徒の興味、関心を引き出す学習活動が展開されており、新たな発見や気づきなどが学ぶ意欲の醸成につながられている。
4	・基礎学力の定着を意識した丁寧な指導が計画的に行われている。家庭学習の習慣化への取組は大変重要であるので学びに向かう意欲向上への指導を充実してほしい。
	・オンラインと対面での授業のすみ分けが適切に行われており学びの質の確保に向けた教員の努力が見られる。
	・コロナ禍であっても、計画的かつ工夫された指導が多くの生徒の進路実現につながられている。卒業生が進路先で活躍できることを期待している。
	・生徒の個性や性格を細かく観察し、個々の生徒に合致した就職や進学へのアドバイスが行われている。
4	・生徒の就職先等もますます多様化し、地域や保護者からの期待も拡大してきているのではないかと思います。地域企業にも協力を得る中で、学校と社会で生徒を育てることが重要ではないかと思う。
	・生徒指導が組織的計画的に行われ学校全体として成果を上げている。教員一人一人の愛情に基づいた指導が行われている。
	・生徒一人一人の長所や短所を的確に捉え、弾力的な生徒指導をさせていただき保護者の一人として感謝している。
	・年間を通して生徒がいつでも相談を受けられる体制と環境が整えられている。また、必要に応じて、カウンセラー等による生徒相談が実施され生徒や保護者に配慮した支援計画が立てられている。
4	・「あいさつ」を始めとして、生徒のマナーが良い。いじめへの対応も組織的に行われている。
	・講演会等を通して、生徒の危機管理能力が向上したと思う。
	・少年の健全育成の面においても警察との連携が十分に図られている。
	・交通事故は社会問題の一つとして大きな位置を占めているが、学校では教室を活用した実践的な交通安全教育が行われている。今後も交通事故、違反の防止に向けて取組を充実させてほしい。

※(1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に本年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。